



## สวัสดี ครับ (こんにちは!) タイ王国の校長先生が本校を視察



9月8日（金）の午後、タイ王国サイパンヤ高校（正式名：Saipanya School Under the Royal Patronage of her Majesty the Queen）の Ladda CHAKSA（ラッタ）校長が本校を視察されました。Ladda校長は、兵庫県教育委員会・タイ王国教育省主催の「令和5年度タイ王国との教育関係者交流事業」の一環で、本校の塚本教頭が県派遣団の一員として8月7日（月）～14日（月）にタイ王国を訪問した際に、大変お世話になった方です。

午前中、Ladda校長は県教育委員会の行事に出席され、その後、塚本教頭の車で神戸市を出発。途中、吉川温泉・よかたんでの足湯体験、山田錦の館の見学等をされた後に来校されました。

本校では5・6校時の3年生選択授業を順に見学し、生徒とも積極的に交流されていました。最初の国語研究では、「สวัสดี ครับ (サワディーカ)」（こんにちは）と、タイ語の挨拶を教えてくださいました。保育音楽の授業では、Ladda校長はタイ古典音楽と古典舞踊の先生なので、ピアノ伴奏に合わせて鉄琴で「さくら」を演奏され、生徒は一緒に歌いました。フードデザインは「日本の季節食」がテーマで、生徒が作る「お月見だんご」に興味津々でした。実用書のクラスでは、生徒たちが「サワディーカ」とタイ語で挨拶してLadda校長を迎えてくれました。生徒が作成した日本語のお手本を見ながら、初めて筆ペンで「日本」「ありがとう」と書かれましたが、とてもお上手でした。生徒からは日本語の絵はがきをプレゼントされ、それぞれにユニークな出来映えに笑顔になられていました。一般英語、専攻実技の授業でも一人一人にお土産を手渡されるなど、終始和やかな雰囲気でした。

見学後、Ladda校長は「（選択科目ということもあり）少人数授業なので生徒に丁寧に指導ができて、とてもいいですね」とおっしゃっていました。

放課後は、作法室で茶華道部の稽古（茶道）の見学でした。2年生男子部員がお点前を披露してくれました。Ladda校長は、師範が準備してくださった季節の和菓子5種類の繊細な細工や美しい見た目に感動されながら、召し上がられました。

時間も限られており、Ladda校長にご覧いただけたのは本校教育のごく一部分にすぎませんが、



Ladda校長の気さくなお人柄と本校生の素直で無邪気な人懐こさが相まって、Ladda校長にとっては楽しく充実した視察、生徒にとってはよいおもてなし体験となったことでしょう。

